

「歯科技工士のコンプライアンスとスキルアップ」

公益社団法人北海道歯科技工士会 副会長 戸島 和之

【抄録】

国民へより安心して安全な委託歯科補てつ物等を供給するため、若年層、学生、未入会者を対象に歯科技工士法を解説し、法令遵守がされるよう説明を加えたいと思います。

また、歯科診療報酬のしくみ、特に「製作技術点数」への理解を深めて頂けるように解説致します。

安心して安全な委託歯科技工補てつ等物を供給するためには、良好な歯科技工経済の確立が不可欠です。今、歯科技工士が抱える課題と、様々な問題に取り組む歯科技工士会の活動を紹介し、歯科技工士自身が自己研鑽を重ね、歯科技工士自身の力で環境整備や社会的地位の向上を目指す必要性と意識を共有したいと思います。

「就職活動におけるマナーや心構え」

plusM (プラスエム) 長谷川久美子

【抄録】

仕事ができる感じが良い。そんな人材が求められています。

仕事ができることはもちろん重要ですが、それだけでは通用しないのも現実です。第一印象は数秒で決まると言われています。就職活動の中での面接シーンも同様で、面接官と最初の数秒がその面接の行方を左右するかもしれません。面接では話の内容と同じくらいマナーが見られています。仕事を行ううえでのマナーが身についているかを企業は見たいのです。基本のマナー、つまり当たり前のことがきちんとできているかどうかで、印象はまったく違ってきます。

印象度アップにつながる訪問、面接での基本マナーや信頼を届ける姿勢、視線の置き方、話の聞き方を確認します。また、企業が学生を採用するにあたっての最重視点はコミュニケーション能力です。コミュニケーションの入り口をワークで体感していただきます。企業が求める『人材』を目指します。

「硬質レジン前装冠製作におけるおさえておきたい Basic&Advance Technique」

医療法人社団中野デンタルクリニック&エステティックセンター 中村 悠介

【抄録】

前歯部補綴治療において硬質レジン前装冠は保険診療に適応しているため、現状の歯科治療では患者が選択する頻度が高い治療といえます。保険診療ではさまざまな要因で補綴物の製作方法が制限されることが多く、理想的な条件が整っていることは稀ではありますが、製作における基本と注意点を把握していないと臨床上対応に苦戦することにつながると考えております。今回、硬質レジン前装冠における基礎知識と製作方法を、臨床例をふまえてお伝えします。参加された方々に、日々の臨床において一つでも役立つ情報になれば幸いです。